

## 第7回 防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会 会議録要旨

開催日時 平成28年10月7日（金） 午後6時から午後7時25分まで

開催場所 防府市役所1号館3階南北会議室

出席者 【委員】 鳩委員（委員長）、福田委員、大村委員、岡本委員、喜多村委員代理 尾中氏、田内委員、広石委員、山野委員、田中委員、水田委員、河島委員

欠席者 古田委員（副委員長）、青木委員、脇委員、藤本委員、長峯委員

【事務局】 藤津総務部長、熊野総務部次長、石丸総務部次長兼庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、本間庁舎建設室次長補佐兼建設推進係長、沼田庁舎建設室建設推進係主任、榎本道路課技術補佐、野間都市計画課副主幹

【基本構想・基本計画策定支援業務受注者】(株)日本設計 唐崎主管、高橋氏

概要（発言要旨の文章は簡略化している。）

### 1 開 会

#### ○前回のまとめ

委員長から前回の協議内容についてまとめ。

### 2 議 事

#### (1) 今後の協議日程について

- ・ 資料1により説明。第8回委員会は11月末頃、第9回委員会は平成29年2月頃開催予定。

委員 異議なし。

#### (2) 防府市庁舎建設基本構想・基本計画(案)について

- ・ 資料2により説明
- ・ P.33下段「将来像の実現に向けたアクションイメージ」及びP.42下段以降の部分については次回委員会までに提示する予定であるが、構成等については変更する可能性あり。

#### 【質疑・意見等】

委員 第2章、第3章についてはこれまでの委員会の内容が網羅されており、よく集約されていると思う。

委員 P.27について、コンパクトシティという言葉がはっきり見えてこない。宇部市でも市庁舎と税務署の合築を進めている例もある。これから50年以上先を考え、国、県の出先機関との関係も含めたコンパクトシティへの取り組みといったようなことを書いていくべきではないか。それが市役所として利便性を図るうえでも大事なところだと思う。

事務局 P.27では庁舎を移転する場合のまちづくりとの関わりについてまとめており、コンパクトシティについては別途、中心市街地活性化基本計画や立地適正化計画でまとめられていくと考えている。今回

は例えばP. 30にある「防府生活都心」のようにコンパクトシティのなかでも特に都市機能を集約することへの橋渡しになるものとして考え方を示したものである。委員からご指摘のあった点について不足する部分については加筆していきたい。

委員 夢と希望があるようなデザインがイメージできるような言葉があると良いと思うので、検討をお願いしたい。

委員長 国・県の出先機関との関係ということになると少し踏み込んだ記述になるかもしれないので、内容については検討を。

一方で今後、都市計画マスタープランの改訂作業と立地適正化計画を策定するなかでこれにフィードバックされる部分もあると思うので事務局で調整を。

委員 上位計画について、市民に十分認知されていないというところがあるのではないか。

市庁舎を駅北へという流れについては理解できるが、そうすると財政面は大丈夫かななどの疑問もでてくるかと思うので、資料にあるように防府の未来が開けるような、将来像が描かれるような表現であるとか、市民が愛着をもって共有できるような案作りが必要だと思う。

事務局 資料P. 33下段、作成中となっている「将来の実現に向けたアクションイメージ」の中で夢を語っていき、皆さんに喜んでいただけるようなものをお見せできたらと考えている。

委員 P. 30など資料中に建設候補地として示しているエリアの範囲が違いうように見えるがいかかがか。

事務局 これまでの委員会で示してきたエリアと同じ範囲になるよう、エリア表示について修正したい。

委員 配付資料についての説明内容については良いと思うが、建設事業費等の記載がないので現時点ではこの計画が良いとは言い切れないと感じている。できれば財源等も見てから判断したい。

また、先日庁舎建設に関心を持たれている市民の方から職場に直接電話があり、市民への情報発信が十分にされていないのではないかという意見があった。

事務局 事業費については今後数字を精査し、節減できるものは節減して提示したい。以前提示した想定概算事業費の111億～118億円を超えることはないと考えている。

情報提供が足りないという点については、検討途中の情報提供は難しいため、熟慮したものを提示したいと考えている。また、提示したものについて市民からご理解をいただくために、時間をかけるべきところにはかけていきたいと考えている。

委員 コスト面についても、もう少し具体的なものを示してほしい。

事務局 事業費にしても、建設方法にしても一般論で終わる形にはしたくないので、次回お示ししたい。

委員 「4-3 新庁舎の整備方針」について、全体的に市民視点の表現が足りない。例えば、P. 36の「防災拠点機能の確保」について、市の機能喪失対策はよく記載してあるが、市民のためになることは、駐車場を開放するというレベルである。もっと「新庁舎内に避難市民のために役立つ施設はこういったものがある」といったことを記載すべき。

また、P. 38の「サービスの向上」やP. 39の「アクセス性と集まりやすさの向上」について、市役所に用事がある人のみを対象とした書き方に見える。前の項目に庁舎の役割として市民の憩い・交流空間といったことも書いてあるので、「市民の憩いの場として活用できるスペース」といったような具体的な文言を入れる方が、用事がなくても気軽に立ち寄れる施設であるという説得力が増してくるのではないかと思う。

- 事務局           ご指摘いただいた箇所については、是非書き込んでいきたい。
- 委員長           用事がなくても立ち寄れる市役所というコンセプトからの流れを具体的に書き込んでいけるよう、内容の検討を。
- 委員              P. 36の雨水貯留施設について具体的に説明を。
- 事務局           雨水貯留施設については、元々排水対策として設置することが主な目的であり、法令で設置が義務付けられているわけではないが、それを利活用してはという考え方で、エコの観点からもその貯留水の利用をP. 40にもあるように示している。
- 委員              現庁舎の老朽化や建替えの必要性については明確に細かく語られているが、現庁舎がこの場所に建設された経緯について詳しく描かれていないのではないか。防府市の市庁舎の歴史の流れとしても取り上げたほうが良いのではないか。
- 事務局           資料編などで市庁舎の変遷をまとめていくことを検討したい。
- 委員              ユニバーサルデザインに関して、障害者であれば何の障害を持っているかによって要望等が変わってくると思われる。例えば聴覚障害者であれば会議室などに磁気誘導ループを設置するなど、他の障害者からもそれぞれに要望があると思う。また、乳幼児を子育て中のお母さんの声なども必要になると思うので、時間はかかるかもしれないがそういった意見を丁寧に取り上げて欲しい。そうすれば市民の声が届いていることが実感できる、愛着の持てる庁舎となるのではないか。
- 事務局           基本設計段階になると思うが、漏れのないようにしていきたい。またそういったことに配慮した庁舎が全国的に建設されていると思うので、事例等も参考にしたいと考えている。
- 委員長           具体的な設計段階になった時に、いろいろなニーズや事情を汲み上げながら設計に反映させていくべきと思うので、設計の方法についても今の段階から検討をしてほしい。  
構想・計画の策定についてはこれまでの意見等を踏まえながら検討し、精度を上げながら引き続き事務局で作業を進めるということによろしいか。
- 委員              異議なし。

### (3) その他

- ・ 先進地視察について  
案① 出雲市、雲南市 (H28. 11. 16～17の一泊二日)  
案② 呉市 (H28. 11. 16の日帰り)  
の2案を事務局から提示し、案②により実施することに決定する。